



色鮮やかな作品を楽しむ来場者

入所者の力作が会場を彩る

■市内介護事業所の入所者による作品展示会

市内の介護事業所7事業所の入所者が制作した作品の展示会が、11月20日から26日まで、相良総合センターい〜らで開催されました。

展示された作品は、介護事業所の入所者がリハビリのために制作したものなどおよそ500点で、手芸や絵画、習字のほか、季節感のあるさまざまな工作作品などが事業所ごとに展示され、会場を鮮やかに彩りました。

訪れた人は、会場をゆっくりと見て回り、展示された作品を楽しんでいました。

スマートフォンを楽しく学ぼう!

■スマホ体験講座

市では11月、相良総合センターい〜らと榛原文化センターで、市民を対象とした「スマホ体験講座」を4回開催し、合わせて55人が参加しました。

この講座は、スマートフォン（スマホ）を所有していない人に基本的な使い方を学び体験してもらうことで、不安を解消し、スマホに関わる第一歩としてもらうことを目的に開催。各回4人の専門アドバイザーが、スマホやアプリの機能の解説や実践指導を行い、参加者はスマホの面白さ、便利さを体験しました。



専門アドバイザーがスマホの機能などについて解説

家庭と地域で子どもを育てる

■市民のつどい

青少年の健全育成と明るい社会づくりを考える「市民のつどい」が11月20日、市史料館で開催されました。式典では、「私の主張2021(作文)」優秀賞受賞生徒の表彰と作文朗読のほか、人権擁護委員による活動紹介などが行われました。

また「好きなことを仕事にする」と題した記念講演では、講師の「海の手配師」石垣幸二さんが自身の半生を振り返りながら、沼津港深海水族館初代館長として展示のトータルプロデュースをした経験などをユーモアを織り交ぜて語りました。



「わたしの主張2021」優秀賞を受賞した作文を朗読する生徒



来場者に「侍ソーラン」を披露する勝間田小学校5・6年生

勝間田城趾のさらなる発展を願う

■勝間田城趾545年祭

本年度で廃城から545年となった勝間田城趾（県指定史跡文化財）で11月14日、記念祭礼が行われ、勝間田区や市の関係者、ゆかりのある御殿場市民の皆さんなど約60人が出席しました。

式典では、神事や来賓あいさつの後、市文化財調査官の松下善和さんが「勝間田城 続々日本100名城への道」をテーマに講話を行い、勝間田城の魅力やさらなる発信する方法などを解説しました。

式典後には、勝間田小学校5・6年生による「侍ソーラン」の披露も行われました。



「アースランチ大賞」を受賞した勝間田小学校の代表児童

郷土への思いを料理に込めて

■アースランチフェスティバル

11月17日、ミルキーウェイクエア（波津区）で「アースランチフェスティバル」が開催され、市内5小学校が参加しました。

前年に続き2回目の開催となるこの催しは、児童が学校菜園で育てたものや地元で採れる食材を使って創造力を働かせ、仲間や地域の人と力を合わせて、楽しみながらオリジナル一品料理を完成させるプロジェクトです。

感染症対策のため、会場には各校の代表児童3人が出席し、それぞれの料理に対する思いやコンセプトを発表。審査員は、発表を聞いた後に実際に料理を試食し、点数を付けました。

審査の結果、「アースランチ大賞」は2年連続で勝間田小学校が受賞しました。

数多くの貴重な土器を発掘

■宮下遺跡発掘調査体験

11月4日、宮下遺跡（坂部区）で発掘調査体験が行われ、坂部小学校の5・6年生46人が参加しました。同遺跡では過去の調査で、大規模な建物跡や日本最古級の六角卒塔婆などが発見されていて、今回は市道工事に伴い、10月末から8年ぶりに発掘調査が実施されています。

職員から遺跡の説明を受けた後、土器探しに挑戦した児童らは、30分で土器の破片を10個ほど発見。「こんな身近な所から土器が見つかるなんて、すごい」と驚いていました。



職員から宮下遺跡の説明を受ける児童ら



カメラ越しにあいさつする講師の山崎さん

創立50周年の歴史を祝う

■榛原中学校創立50周年記念式典

市立榛原中学校（大石友巳校長）では11月2日、創立50周年記念式典を執り行いました。

式典は、新型コロナ対策のため各教室のモニターを使って配信形式で開催。3年生の前田央人さんが「50年の歴史を受けて、こころざしの種や源を残していけるように頑張っていきたい」と生徒代表の言葉を述べました。続いて、同校卒業生で税理士の山崎広三さんが「こころざしを育む」をテーマに講演し、生徒たちは真剣なまなざしで、山崎さんの話に耳を傾けていました。

ズームイン！
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp